



京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター

申込
不要

伝音セミナー

参加
無料

日本の希少音楽資源にふれる

日本伝統音楽の講座に参加するのは初めてという方にも気軽に受講いただけるセミナーです。是非ご参加ください！

7月7日(木)
14:40～16:10

第3回

「松坂」をたどる

日本伝統音楽研究センター非常勤講師

梶丸 岳

「松坂」という名の付いた民謡や、これを起源とされる民謡は日本各地で広く歌われています。今回は『日本民謡大観』などに収められた論考などを頼りに、「松坂」の聞き比べをすることで、民謡が伝承・伝播していくなかでどのように変化していくのかを考えます。

6月2日(木)
14:40～16:10

第2回

現代日本における雅楽の「面白さ」

国際交流基金フェロー

アンドレア ジョライ

「日本の雅楽をどう思いますか？」この問いに、日本の若者の多くは困惑するでしょう。彼らにとって雅楽はエキゾチックなものです。一方で私のような海外の若手研究者にとって、日雅楽が有する長い歴史やステータスは大きな魅力です。奈良、南都楽所での体験・交流をふまえて、雅楽の音楽、またその伝承を支える人々の魅力について語ります。

5月12日(木)
14:40～16:10

第1回

子どものためのレコード

日本伝統音楽研究センター客員研究員

大西 秀紀

日本の子どものために作られたレコードの歴史は古く、明治の出張録音期からすでに唱歌が三味線音楽や謡曲とカタルグ上で肩を並べていました。大正に入るとお伽劇、お伽歌劇といった新しいジャンルが生まれ、大人達は子どものために手の込んだレコード作りに心血を注ぎます。今回は北村季晴作「ドンブラコ」(大正2年発売、5枚10面)を中心に、巖谷小波・佐々紅華作「ウサウサ兔」、「ウントコ爺さん」、小波自身の朗読による「正直正吉」などをお聴きいただけます。

会場

京都市立芸術大学
日本伝統音楽研究センター
新研究棟7階・合同研究室1
(京都市西京区大枝沓掛町13-6)



阪急桂駅から

桂駅東口 京阪京都交通バス1・2・13・14・25・28系統 乗車約20分、「芸大前」下車、徒歩すぐ

桂駅西口 市バス西1・西5・西8 乗車約20分、「新林池公園」下車、徒歩約20分

JR京都駅から

【C2のりば】京阪京都交通バス2・14・28系統 乗車約45分、「芸大前」下車、徒歩すぐ

【C5のりば】市バス73系統 乗車約45分、「国道沓掛口」バス停下車、徒歩約10分、または「新林池公園」バス停下車、徒歩約20分

* 時刻表、その他交通機関についての詳細情報は、各社のホームページをご確認ください。

9月1日(木)
14:40～16:10

第5回

『玉堂琴譜』の再現

日本伝統音楽研究センター准教授

武内 恵美子

琴(七絃琴/古琴)は「減字譜」という専用の楽譜を用います。この楽譜は他の楽譜と同様、記譜の限界と問題を抱えており、残念ながらリズムが記載されないため、伝承が途絶えてしまっている曲の再現には再現する人の解釈が入る余地があります。今回は江戸時代の日本人で琴を演奏した浦上玉堂の記した楽譜『玉堂琴譜』の再現例を聴き比べることで、打譜と呼ばれる琴曲の再現について考えます。

8月4日(木)
14:40～16:10

第4回

昭和の関西歌舞伎の音楽を聴く

日本学術振興会特別研究員

前島 美保

日本伝統音楽研究センター准教授

竹内 有一

昭和の関西歌舞伎を支えた杵屋富造(1902～1977)と杵屋胡金吾(1921～2009)。この二人に関する知られざる録音が、この度発見されました。その貴重な音源と関連資料をたよりに、かつての上方歌舞伎の黒御簾音楽に迫ります。

定員 各回につき
先着 50名

受付 当日会場にて
午後2時より開始

問合せ先

京都市立芸術大学 事務局 連携推進課
事業推進担当 TEL 075-334-2204